

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成26年5月22日 (2014.5.22)

【公表番号】特表2013-523440(P2013-523440A)

【公表日】平成25年6月17日 (2013.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-031

【出願番号】特願2013-503031(P2013-503031)

【国際特許分類】

B 0 1 F 11/00 (2006.01)

B 0 1 F 13/02 (2006.01)

B 0 1 F 15/06 (2006.01)

B 0 1 F 5/00 (2006.01)

B 0 1 J 19/28 (2006.01)

B 0 1 F 3/08 (2006.01)

B 0 1 F 3/04 (2006.01)

B 0 1 F 3/02 (2006.01)

B 0 1 F 3/12 (2006.01)

【F I】

B 0 1 F 11/00 C

B 0 1 F 13/02 Z

B 0 1 F 15/06 Z

B 0 1 F 5/00 D

B 0 1 J 19/28

B 0 1 F 3/08 Z

B 0 1 F 3/04 Z

B 0 1 F 3/02

B 0 1 F 3/12

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月2日 (2014.4.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 つ又は 2 つ以上の攪拌要素を収容したチャネルを有する連続流れシステムであって、前記攪拌要素は、前記チャネル内の他の材料とは異なる密度のものであり、前記チャネルは、材料のための 1 つ又は 2 つ以上の入口及び材料のための 1 つ又は 2 つ以上の出口を有し、前記チャネルを通過する材料は、順序正しい流れを生じ、攪拌運動は、前記チャネルを振盪することによって生じ、混合方向は、前記チャネルを通る材料の流れ方向に対して実質的に横方向である、

ことを特徴とするシステム。

【請求項 2】

前記攪拌運動方向は、半径方向平面に制限されている、

請求項 1 記載のシステム。

【請求項 3】

前記システムは、振盪ブラットホームに取り付けられた 1 本又は 2 本以上の管を有し、

混合は、前記チャンネルを振盪することによって生じる、
請求項 1 または 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

連続的に順序正しく流れる流れを混合する装置であって、

1 つ又は 2 つ以上の攪拌要素を収容したチャンネルを有し、前記攪拌要素は、前記チャンネル内の他の材料とは異なる密度のものであり、前記チャンネルは、材料のための 1 つ又は 2 つ以上の入口及び材料のための 1 つ又は 2 つ以上の出口を有し、前記装置は、前記チャンネルを振盪して攪拌運動を生じさせる手段を更に有し、混合方向は、前記チャンネルを通る材料の流れ方向に対して実質的に横方向である、

ことを特徴とする装置。

【請求項 5】

前記攪拌運動方向は、半径方向平面に制限されている、

請求項 4 記載の装置。

【請求項 6】

1 つ又は 2 つ以上の攪拌要素を収容したチャンネル内で連続的に流れる流れを混合する方法であって、前記攪拌要素は、前記チャンネル内の他の材料とは異なる密度のものであり、前記チャンネルは、材料のための 1 つ又は 2 つ以上の入口及び材料のための 1 つ又は 2 つ以上の出口を有し、前記チャンネルを通過する材料は、順序正しい流れを生じ、攪拌運動は、前記チャンネルを振盪することによって生じ、混合方向は、前記チャンネルを通る材料の流れ方向に対して実質的に横方向である、

ことを特徴とする方法。